

もしも税の仕組みが無かったら

奈良教育大学附属中学校3年 安井 友那

私たちの生活と税は、深く関わっている。学費やゴミ収集の費用などは税金によって賄われており、全ての国民がある一定のレベルの生活を維持することができるようになっている。このことは知らない訳では無いけれど、税の仕組みについて考えたり、実感する機会はあまりないように思う。だが私には、この税の仕組みによって今の私たちの生活を送ることができているということを理解した出来事がある。

それは、今年に入ってから、私がある感染症にかかり、病院を受診した時のことだった。私は、その月に入ってから二度目の受診で、いくつか薬を処方してもらったにもかかわらず、受付の人にお母さんが「今回はお金いららないんですよね。」と言っていたことが気になった。家に帰った後、そのことをお母さんに尋ねてみると、それは税の仕組みのおかげであることを知った。これが衝撃的だった私は、お母さんと「もし税の仕組みが無かったらどうなっていたのか。」ということ話を話してみた。すると、来年小学三年生になる私の妹のことが話題に上がってきた。

私の妹はダウン症で、その影響から、生まれた時に普通繋がっているはずの胃と腸が繋がっていなかった。そのため、生後七日で胃と腸を繋げる手術を受け、約三ヶ月間NICU（新生児集中治療室）にいた。妹が生まれた時私は七歳で、このことについて深く考えたことは無かった。だが、今考えてみると、手術やNICUにかかる費用はとても高額で、私達のような一般家庭では簡単に払うことができない。妹は、税金が巡り巡って保障金となり、手術やNICUに入る費用が負担されたため処置を受けることができ、命が助かった。この時税の仕組みが無かったら、現在の妹と一緒に暮らしている未来は無かったかもしれないと思うのだ。

もちろん、私達が税の仕組みによって助けられたのは、過去のこの出来事だけではない。妹は今でも様々な支援を受けているし、私達家族も福祉といった公共サービスの恩恵にあずかっている。現代社会では様々な人が生活をしているが、誰しもが税の循環の中で生きているのだ。税金と聞くと払うだけのもののように感じてしまうが、私達は税金による沢山の補助によって、今のよう暮らしができています。そのため、当たり前であるこのことを忘れてはいけないと思った。

私はこのように、「もし税の仕組みが無かったらどうなっていたのか。」ということを考えてみると、税金によって今の生活が成り立っていることがわかり、税の仕組みは現代社会に必要な存在だと実感することができた。将来この社会を背負うことになる私達が税について一度考えてみることは、より良い社会を作っていくための第一歩になる。そのため、今よりも沢山の人が税について知り、考えていくべきだと私は思う。